



J's Cafe

津波 ⇔ TSUNAMI

〇〇 ⇔ Kesennuma Shishiori



東北被災地の住民参加のまちづくりの現場にどっぷりつかった3年間。今回は、気仙沼／鹿折地区における復興まちづくりの活動を振り返りながら、2年半に渡るスマトラ島沖地震の復興現場での支援活動と、2年にわたる中米ホンジュラスでの住民参加型開発の活動との比較を行います。それぞれの住民現場における共通点は。相違点は。何が重要で、どこを見るべきか。鹿折から世界の国際協力の現場に向けて、また、世界から日本の地方でのまちづくり現場に向けて、伝えられるものは何か、そんなことを考えてみます。

- 日時：2017年6月29日（木）19:00～21:00
- 場所：J's プレイス（日本都市計画家協会）
千代田区神田小川町2-10香取ビルアネックス2F
- エントランスフィー：1,000円(ワンドリンク & フード込) / ドリンクチケット1,000円

ゲストスピーカー：丹澤千草

山梨県甲府市生まれ。2歳から16歳までブラジルで過ごし、そこで貧困問題を目の当たりにしたことがきっかけで国際協力を志す。大学・大学院では国際開発と行政学を学ぶ。関心は住民参加と地方行政。外務省、日赤、JICAなどで途上国支援に携わった後、2014年から3年間、気仙沼市で鹿折まちづくり協議会の支援に携わる。現在横浜市在住、横浜市の臨時職員採用候補者。

